



幼稚園だより

…… 11月号……

令和5年10月31日

中央区立月島第二幼稚園

園長 竹谷 直史

唯一無二

園長 竹谷 直史

朝晩の気温差が大きくなり、秋が深まりつつあることを感じさせてくれます。校庭の木々も紅葉が進み、今後月二のシンボルであるイチョウがきれいに色づくことを楽しみにしているところです。

さて、幼児期は、幼稚園教育要領にもあるように「豊かな感性を養う」ことが大切とされています。それでは、どのようにして豊かな感性を養えば良いのでしょうか。改めて問われてみると、なかなか簡単にはいかない感がしてしまいます。人それぞれの過程はあるのですが、大きく捉えるならば、心を揺さぶられる事象に幅広く出会うこと、そして、そこで感じたことなどを様々な方法で表現することは大切になるかと思われまます。言わば、「インプット」することと「アウトプット」することとのバランスをちょうど良い案配で保ちつつ膨らませていくというイメージです。

秋は、五感でその変化を感じられる機会が多く持てる季節です。子どもたちの発達面においても、今年度の下半期となり、各種技法を得てより多くのことができるようになっています。各保育室には、遠足の際に集めたドングリ等の自然物が各種あり、工作や装飾物、コリントゲームなど、各種の気付きを伴う活動が展開できるように環境が構成されています。今月の園内研究会は、子どもたちが自然物との関わりを楽しめる内容で実施いたします。講師は、先月のPTA家庭教育学習会においてご講演いただいた先生です。子どもたちがより多くのことを楽しく感じられるような内容となるよう進めていく予定です。ご家庭におかれましても、登降園時などに季節の移ろいや自然物と関わることの楽しさをお子さんとはたくさん語り合いながら共有していただければうれしく思います。

自然物は、例え同じ種類でも、一つ一つをよく見てみると、色や形、大きさなど、どれ一つとして同じ物が存在しないことに気付かされます。とかく同じ種類で括って見てしまいがちになりますが、それぞれの特徴、個性に至るまで、その唯一無二さを大切にしながら見ていきたいものです。それは、人間に対しても同様です。一人一人に固有の感性を、その子の歩みに応じながら豊かに養えるよう、教育活動を展開してまいります。変わらぬご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

< 11月の目標 >

年少組	<ul style="list-style-type: none"> 身近にある素材や用具で遊びに使うものや、遊びの場を作りながら、自分のしたい遊びを楽しむ。 教師や学級の幼児と、簡単な鬼遊びや触れ合い遊びをすることを楽しむ。
年中組	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いやイメージを実現しようと作ったり、遊んだりすることを楽しむ。 自分の思いを出したり、相手にも思いがあることに気付いたりしながら、友達と遊ぶことを楽しむ。 友達の動きを意識しながら、一緒に鬼遊びやゲームを楽しむ。
年長組	<ul style="list-style-type: none"> 友達と同じ目的に向かって、遊びを進めていく楽しさを味わう。 個やグループ、学級の課題を受け止め、その中で自分の力を発揮したり、友達のよさに気付いたりする。
安全目標	<ul style="list-style-type: none"> 歩道や横断歩道の安全な歩き方を確認し、守る。 安全な使い方に気を付けて、身の回りの遊具や用具を扱う。
生活目標	<ul style="list-style-type: none"> 薄着の習慣を身に付ける。 自分の持ち物は、家に帰ったら自分で所定の場所に片付ける。

